

生きる力 SHINGON

特集
仏さまとつながる祈り

— 祈りで始まる安らかな一年 —



生きる力 SHINGON

Vol. 103



宗祖弘法大師開創寺院

全国各地に点在するお大師さま（宗祖弘法大師）伝説。千葉県の最南端に位置する館山市にも、その足跡が残されています。

今回の寺院探訪では、宗祖弘法大師をご本尊さまとしてお祀りし、お大師さまご本人が創建されたと伝えられ信仰されている、遍智院、通称「小塚大師」の様子をお届けします。

小塚大師縁起

小塚大師は、弘仁六年（八一五）にお大師さまが東国行脚をされた際、静寂で靈験あらたかであったこの地に立ち寄り、密教の道場として一字の草庵を建てたのが始まりであるとされます。

ある日、土地の神である太玉命が現れ、お大師さまにこう告げました。「師がこの地に来たり給うは、この地の民の願い、師は今年四十二歳の厄年に当たる。一つには自分のため、一つには衆生のために災難除けの勝業を営むべし。師の住む庵の後峰に霊木がある。これを用いて師の形像を刻み祈誓したならば、あらゆるわざわいはその像が身代わりとなって、師の心身は安らかである。なお、あらゆる衆生を救うとの誓いを像にこめ、永くこの地に残り、結縁の者に厄難を除かしめられよ。私もまた師の影に随って擁護しよう」



表参道より本堂を臨む。
左手には減罪法要などを行
う講堂をかまえる。

その言葉を残し、太玉命は姿を消されました。お大師さまはそのお告げにしたがい峰へ上ると、光を放ち素晴らしい香りをもつ一本の木を森の中に見つけ出します。そこでその木を伐り、自らの像を二体刻み、開眼供養を行いました。

「願わくは有縁の衆生と共に福智円満せしめん。当所鎮守を始め奉り、本朝の諸大神祇・三世十方の諸仏・諸菩薩証明加護し給え」と誓いをたて、一体は神託により当地に安置されました。この時、遠近各地から集

まった武士や庶民は、お大師さまの徳に帰依して浄財を寄付し、まもなく数字の殿堂が完成したといわれています。もう一体は海に流し、幾年かの後に対岸の武州橋樹郡に流れ着き、その地に祀られ、現在の大本山川崎大師平間寺が開かれたと伝えられています。

この縁起にちなみ、厄除け小塚大師として親しまれ、地域の住民はもとより、多くの檀信徒からの信仰を集めています。

※縁起は、小塚大師のホームページに拠ります。

関伽井と金泥曼荼羅

本堂裏手に、法要などに用いる清浄な水を汲むための「関伽井」があります。お大師さまはこの井戸の水面にご自身のお姿を映され、自らのご尊像を謹刻されたといわれています。また、創建当時、お大師さまは金泥をもつ

て金胎両部の法曼荼羅（仏さまを表す梵字にて書かれる曼荼羅）を親写されました。その際、井戸の中から黄金が湧き出たとされています。井底の泥には今でも黄金の輝きがあるといひ伝えられています。この曼荼羅は現在、小塚大師の寺宝として保管されており、本堂内陣に掛けられた写しを拝すことができます。

地域随一の祈願所

小塚大師では、お大師さまのご縁日である毎月二十一日をはじめ、元日、成人の日、節分会、三月に行われる春季大祭などで護摩供法要が勤修されています。特に毎年初めのご縁日、一月二十一日の「初大師」には非常に多くの参拝者が訪れます。初大師の護摩供法要では、大人数の僧侶で読経がなされ、参拝者の新年の願い事をご祈禱します。「普段なかなか体験することのできない大人数での読経とお護摩でご祈禱を受けることにより、宗教的感動を感じていただきたい。また、お護摩の炎や、ご祈禱を行う僧侶との距離が近いことも、信仰心を育む一助となっているのではないかと」、二村俊弘住職はおっしゃいます。また、護摩供法要の勤修に若い僧侶を積極的に受け入れていらっしゃることで、実際の道場で経験を積む「仏道修行の場」としても役立ててほしいとの思いもお話いただきました。



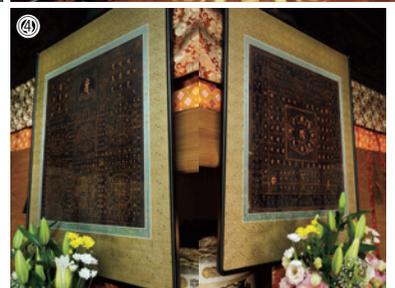
①



②



③



④

- ① 関伽井。お大師さまが自身の尊像を謹刻する際、水面にそのお姿を映したといわれる。
- ② 四国八十八カ所めぐり。四国八十八カ所霊場を模して作られている。※傾斜が急であり危険があるため参拝には事前の許可が必要
- ③ 護摩供法要が勤修される本堂内陣。
- ④ 内陣正面に供奉されている金泥で描かれた金胎両部の法曼荼羅（複製）。お大師さまが親写した実物は、寺宝として保存されている。



⑤講堂の天井画。季節の花々が色とりどりに描かれている。
栃木県佐野市 観照院日本画研究会の皆さまより奉納された。



⑥初大師でのお護摩供の様子。多くの僧侶による読経、ご祈禱がなされ、参拝者はお護摩の炎を間近に体験できる。

写真提供／遍智院

⑦初大師大祭では境内に出店が並び多くの参拝者で賑わう。

写真提供／遍智院

⑧大師信仰のお寺を預かる者として、そのご遺徳を伝え続けるご住職の二村俊弘師。



お大師さまのご遺徳を伝える

小塚大師は、平成二十七年に開創千二百年を迎え、五十年に一度の秘仏ご本尊さまのご開帳とともに、十日間にわたり特別法要が奉修されました。このように長い歴史を経て現在にいたるまで、お大師さまのご威光は色あせず、その功德を求め参拝者が後を絶ちません。そのことについてご住職は、「毎月欠かさずお参りされる方、親とともに初詣をする方、厄年にお祓いを受けに来る方、信仰の形は人それぞれでお参りの仕方にもいろいろあります。いずれにせよ、そこにはお大師さまのありがたいご遺徳に触れる機会がありますので、参拝をとおして、信心を発すきっかけとなればありがたいです」との思いを述べられました。

また、インターネットでお護摩札の申し込みを受け付けるなどして、若い方やお参りが困難な年配の方へもお札をお授けできるように配慮しており、なるべく多くの方へお大師さまの功德をお伝えしたいというご住職の姿勢に感銘を受けました。

小塚大師は、交通の便がよいとは決していません。にもかかわらず、遠方から参拝に訪れる方も少なくありません。特に初大師や春季大祭には、写真にもあるように多くの参拝者で賑わいます。お大師さまが広く親しま

れ、信仰されていることの何よりの証であると思います。

令和五年にはお大師さまご誕生千二百五十年を迎えます。お大師さまの足跡を辿り、想いを巡らせながら寺院を参拝し、より深く、そして身近にお大師さまを感じてみてはいかがでしょうか。

小塚大師にお参りの際は、ご住職のみならず、きつとお大師さまが皆さまをあたたく迎えてくださるはずですよ。

(智山教化センター所員／池田裕健)
撮影／清水健



ACCESS アクセス

曼荼羅山 遍智院「小塚大師」

〒294-0233 千葉県館山市大神宮2161

Tel 0470-28-1341 Fax 0470-28-1336

車：館山自動車道、富浦ICから国道127号線を白浜方面へ15km

電車：館山駅よりJRバス安房白浜行きで25分、大石バス停下車徒歩30分

※1月21日の初大師には、館山駅発着の臨時のバスが運行されます。

今日の法語

「三密」さんみつ

佐竹 靖弘 さ たけ せいこう
(東京都大田区 大楽寺住職) だいらくじ

三密

新型コロナウイルス感染症拡大防止の標語でお馴染みの「3密」という言葉があります。一方、真言宗では、「三密」というと、仏さまと一体になるための三つの作法の名前として昔から使われています。

まずは合掌。右手は仏さま、左手は自分です。これにより仏さまと身体が一体となります(身密)。次に真言。これは「真の言葉」で仏さまに話しかけます。ここでは仏さまと言葉が一体になります(口密)。そして心穏やかにすること。これは仏さまと心が一体となります(意密)。身密・口密・意密の三つ、仏さまの三密と私たちの三つの作法を一体にすることが、真言宗では最も大切とされます。



仏さまとつながる祈り

—祈りで始まる安らかな一年—

写真提供／PIXTA

『生きる力SHINGON』読者の皆さま、あけましておめでとうございます。年頭にあたり、まづもって皆さまの今年一年のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

令和二年をふり返ってみますと、新型コロナウイルス感染症の蔓延まんえんに始まり、緊急事態宣言の発出、事件、事故、豪雨災害と、不安な日々が続く一年でした。改めて皆さまの日々が心安らかであるよう、重ねてお祈り申し上げます。

特に新型コロナウイルスの感染拡大は終息の兆しが見えず、各方面の専門家の意見も、それぞれの立場によって多種多様な発言がなされています。そうした情報とともに刻一刻と変化していく状況を見極め、自身の行動を決めなければならぬことは私たちにとつて大きなストレスとなりました。

「ウィズコロナ（コロナと共存する）」という言葉とともに提唱された新しい生活様式は私たちの日常に大きな変化をもたらし、新年においても、いつもと違った過ごし方をされる方も多いのではないのでしょうか。



①感染拡大下における感染予防策のピクトグラム（絵文字）厚生労働省

②ウイズコロナにおける働き方はIT技術を背景に多くの可能性を示した。その変化は宗教界にも影響を及ぼしている。写真提供／PIXTA

信は道の元、功德の母——我功德力——

「初詣に行きたいけど……」と不安に思うことは当然ですし、対策を取った上で参拝に行くという方を安易に非難することもできません。このような状況だからこそ本尊さまの近くで手を合わせたいという気持がわくのも当然だからです。一人一人に手を合わせる理由があるのです。少なくとも、仏さまはお寺に来る、来ないといった祈りの形を問うようなことはいえませんが、昔から代参といつて、本人に代わって神仏に参拝することは行われてきましたし、現在であれば、お寺に足を運ぶことが困難であっても、お札やお守りをお願いして郵送してもらうこともできます。ただ一つ、仏さまが問うならば……それはきつと「信」でしょう。仏さまを頼り、その教えを受けとめ、善行を積んでいこうとする「信」の心をおこすことが大切であり、また同時にさまざまな功德を生み出していく基となります。つまり、「信」がなければ功德を積むことも、安らかな心に近づくこともできないのです。

仏さまの慈悲の力——如来加持力——

仏さまの力は時間や場所に制限されることなく私たちに降り注いでいます。この仏さま

のお力を「加持力」といいます。宗祖弘法大師が「あたかも太陽の光のような仏の力が人々の心の水に現れるのを、加^くといひ、私たちの心の水が、よくその仏の日を感じ取ることを、持^ぢと名づける」とその著作の中で仰っているように、仏さまの力が私たちに加わり、また私たちがそれを信心によって受け取ることで「加持」が成立します。

しかしながら、洋の東西を問わず「苦しい時の神頼み」「危険が過ぎると神は忘れ去られる」ということわざがあるように、信仰生活のみに生きることは難しいようです。人間にとって信仰生活が楽なものであったり、私たちの日頃の欲望を満たすようなものであれば、誰もがその道を選んでいたはずでしょう。しかし、そのようなものではありませんでした。

実は仏教の「信」という言葉には、信じて耐え忍ぶという意味が含まれています。これは、今まで正しいと思って進んできた道が、仏さまの教えを受けることで一転することに耐え忍び、真実を信じ、受け止めるといった意味合いになります。つまり、一見して辛い道先の先にある仏さまの世界を信じ、たどり着けることを願い、歩んでいく努力が求められます。そのなかで私たちの信心は磨かれ、仏さまの力を受け取れるようになっていくのです。

おかげさまの力——法界力——

仏さまの世界に至る道のりはどのようなものなのでしょうか？ 険しいのか、悪者が襲ってくるのか、または、ふりだしに戻るといふこともあるのかもしれませんが。自分で間違いに気づき修正できるならまだしも、多く

は「凡夫、狂酔して我が非を悟らず」酔っ払いはほど自分の酔いに気づかないものです。他人から指摘された時などは、つい「そんなことはない」と自省するより先に言葉が出てしまうこともあるでしょう。本当はそのように指摘してくれる人ほどありがたいということとはわかってはいるのですが……。

私たちは決して自分一人では生きていけないのです。喜びを分かち合い、時に厳しくも支えてくれる人たち。また私たちが安心して生きていけるような環境や、それを支えていてくれる人たちの「おかげ」で生きることができています。勿論、皆さま自身もその環境を支える一人であり、誰かを支える大切な存在でもあることを忘れてはいけません。

私たちの「信」に始まり、善行を積むことで得られる力（我功徳力）、仏さまから降り注ぐ慈悲の力（如来加持力）、私たちが支えるおかげさまの力（法界力）は「三力」といわれ、これらの力が相まって初めて功徳が成就されるのです。

日常生活の中に仏さまを感じ、「生きる力」を感得していただくことが「安心」につながっていきます。
画／川上秀行

洒がれる力——洒水加持——

皆さまはお寺の法要に参加した際、僧侶が細長い木製の棒を上下左右に振っている姿を見たことはあるでしょうか。これは「洒水加持」といい、本来はお勤めをする壇上において、仏さまに向かって行われる作法ですが、「発心式」や「結縁灌頂」、または法要の始め



しんごんしゅう ちんほん かんじょう そうほんざん ちしやくいん けしゆ ぶせじょう えいげい か
真言宗智山派管長 総本山智積院化主 第七十二世 布施浄慧院下による洒水加持作法

目次

智山寺院探訪 遍智院「小塚大師」	2
今日の法語（佐竹靖弘）	5
特集 仏さまとつながる祈り	6
お大師さまとご信仰（田村宗英）	10
教えは伝わる—真言八祖解説—（別所弘淳）	11
図解・仏教ガイド 「マンガでわかる十三仏②」（え・悟東あすか）	12
御詠歌を、聴いてみよう、見てみよう（佐藤芳典）	14
日本の四季を切り取る十七文字（星野高士）	15
総本山の便りをお知らせします	16
らせんのなかのブツダガヤ（中嶋亮順）	18
ごくららくご（三遊亭竜楽）	19
知っておきたい仏事 Q&A	20
読者アンケートから・おしらせ・編集後記	22
真言宗智山派出版物のご案内	23
桃山の息吹に触れる（安原成美）	24
お大師さまのご生涯 —お大師さまカルタ—（川崎一洸・三船毅志）	26
僧侶と学ぶ仏像鑑賞の伊呂波（池田英真）	28
花に聞く 仏に聞く（佐々木隆元）	29
私のお大師さま ビジュアルで読む現代的性霊集 feat.Rieko（内藤理恵子）	30
ご本尊さまと出会う（小笠原隆浩・黒川広志）	31

に、参拝者に対して行われることもあるので、ご存知の方もいらっしゃるでしょう。その作法の詳細を述べることはできませんが、水を洒ぐと書かれるように、お加持をした仏さまの香の水で皆さまの心と体を浄め、仏さまの力を洒ぐ作法です。

私の個人的な考えですが、この作法は私たちの祈りに対する、仏さまからの加持力のエールのような気がしてならないのです。時間にすれば五分にも満たない作法ではありますが、そこに「三力」が示す仏さまの世界が展開されることで、また一歩、歩みを進める

ことができるのではないのでしょうか。どうか仏道の始まりである「信」を忘れずにお過ごしください。仏さまは常に皆さまを見守っていてくださるのですから。

（智山教化センター所員／島玄隆）

表紙

 東の間の青空が広がる白樺並木
 北海道音更町


冬は日の入りがとても早い北海道で、昼と夕方の短い狭間に、映画やドラマの撮影地で有名な十勝牧場の白樺並木を訪れた。季節と時間帯のせいか時折車が通るくらいで、静寂な時間と長く伸びる並木道の景色を、寒さも忘れてシャッターを切った。

P5

 厳冬を暖かく包むかまくら
 秋田県横手市


かまくらは月遅れの小正月に、雪室に水神様を祀って農耕につながる火や水に感謝を捧げる行事だ。子どもたちがかまくらの中で、餅を火鉢で焼いていて、外の観光客に「入ってんせ」「おがんでんせ」と呼び込みをする姿はとても愛らしい。

令和3年カレンダー発行のお知らせ



令和3年のカレンダーを
2種類ご用意いたしました。
ぜひご利用ください。

(各1部100円) お問い合わせは本誌P.23出版係まで

ポスター
カレンダー(B2版)
「金剛界種子曼荼羅」

智積院寺宝をポスターサイズで紹介するカレンダー。今回は、仏さまを象徴する梵字(種子)で描かれている「金剛界種子曼荼羅」を使用しています。

柱かけカレンダー
「今月の法語」

弘法大師ご誕生1250年に向けて、お大師さまの代表的な著作の一つである『聲字實相義』の中から特徴的な仏教語を集めた月めくりカレンダー。お部屋の柱などにかけてお使いください。



平成十年十二月十六日第三種郵便物認可「生きる力のSZN」第一〇三号
 令和二年十二月一日発行 年四回(六月・九月・十二月・三月の一日) 発行 定価一〇〇円(税込)
 発行人/芙蓉良英 編集/智山教化センター 発行所/〒605-0951 京都市東山区東大路七条下ル東瓦町九六四 総本山智積院内 真言宗智山派宗務庁

京都 総本山智積院

〒605-0951 京都市東山区東大路七条下ル東瓦町964
 TEL: 075-541-5361 FAX: 075-541-5364

第6回写真コンテスト

QRコード



応募期間:
 令和2年9月1日〜
 令和3年2月28日

応募テーマ:
 「仏さまに祈る」
 秋冬の智積院で出会い〜

第6回智積院写真コンテスト

※ご予約は智積院公式ホームページから受けておきます。詳しくは、お電話でお問い合わせください。

※Gotoトラベル事業者に登録されています。詳しくは、お電話でお問い合わせください。

※ご予約は、6カ月前の1日より開始いたします。令和2年11月現在、令和3年5月分までのご予約を受け付けております。

TEL 075-541-5363

・JR京都駅よりバス約10分

・京阪電車七条駅より徒歩約10分

夕食別途3,300円(消費税込)

宿坊 智積院会館

一泊朝食付プラン
 8,300円から

智積院阿字観会

毎月21日 13時より
 於 智積院金堂地下ホール
 納経料 千円

智積院阿字観会
 毎月12日 14時より(受付13時より)
 ※8月と12月は8日 14時より
 於 智積院金堂地下ホール
 (参加灯明料五百円・要事前申込)

写経のつどい

毎月21日 13時より

於 智積院金堂地下ホール

納経料 千円

東京 総本山智積院別院 真福寺

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-8
 TEL: 03-3431-1081 FAX: 03-3431-0203

真福寺阿字観会
 毎月の部15時より

※夜の部は当面の間中止にします。

於 本堂(無料・要事前申込)

1月26日(火)
 2月24日(水)

やすらぎ寄席
 毎月第3木曜日 18時30分より

於 本堂(木戸銭千五百円)

12月17日 談志一門会
 1月21日 談志一門会
 2月18日 三遊亭

納大護摩供法要
 12月16日(水) 15時より

於 本堂

2月8日(月)
 ※新春大護摩供法要 11時30分より

1月8日(金)
 12月8日(火)

愛宕薬師ご縁日(毎月8日)
 ※8日が土日祝の際は第一金曜日

・大護摩供法要 12時より
 ・写経会納経料千円 14時より

Facebook



智積院

検索

※ご案内の行事は、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期または中止となる可能性がございます。詳細は、記載の連絡先へお問い合わせください。